

映画でまちおこし

地域活性化の役割説く

朝三 朝三
吉と 吉と
倉連 倉連

映画を軸にした地域の活性化について話し合う「倉吉と三朝で映画をつくりたいだけ」などが、シンポジウム(「NPO法人未来主催、新日本海新聞社後援」)が二十八日、倉吉市上井町一丁目の新日本海新聞社中部本社ホールで開かれた。

シンポジウムにはNPO法人未来から吉田晴彦氏、今秋公開予定の映画の三朝町でのロケ誘致にかかわった山根弘行氏とNPOみささ温泉の新藤祐一理事長、倉吉市が舞台となった谷口シロー氏の漫画「遙かな町へ」の映画化を企画している山本芳裕氏がパネリストとして参加。映画制作と地域の取り組みなどについて語った。

シンポジウムの中で新藤理事長は、「(三朝での撮影を)チャンスと感じている。外からの視点で新たな発見があり、東京からの誘客にも手応えを感じている」と述べた。

山根氏も「映画に合わせた東京、大阪のメディアによる紹介などもまちおこしにつながる。一過性でない取り組みにしたい」と、映画が地域の活性化に果たす役割を説いた。

また、山本氏は「遙かな町へ」の映画化について「来年夏には撮影、再来年の春には完成、公開を目指したい」と話した。

シンポジウムは倉吉の連携イベント「レトロの春」の一環で開かれ、参加者らはパネリストの話に熱心に耳を傾けていた。

「シンポジウム(「NPO法人未来主催、新日本海新聞社後援」)が二十八日、倉吉市上井町一丁目の新日本海新聞社中部本社ホールで開かれた。

シンポジウムにはNPO法人未来から吉田晴彦氏、今秋公開予定



シンポジウムの中で新藤理事長は、「(三朝での撮影を)チャンスと感じている。外からの視点で新たな発見があり、東京からの誘客にも手応えを感じている」と述べた。

シンポジウムにはNPO法人未来から吉田晴彦氏、今秋公開予定の映画の三朝町でのロケ誘致にかかわった山根弘行氏とNPOみささ温泉の新藤祐一理事長、倉吉市が舞台となった谷口シロー氏の漫画「遙かな町へ」の映画化を企画している山本芳裕氏がパネリストとして参加。映画制作と地域の取り組みなどについて語った。

シンポジウムは倉吉の連携イベント「レトロの春」の一環で開かれ、参加者らはパネリストの話に熱心に耳を傾けていた。

シンポジウムは倉吉の連携イベント「レトロの春」の一環で開かれ、参加者らはパネリストの話に熱心に耳を傾けていた。

シンポジウムは倉吉の連携イベント「レトロの春」の一環で開かれ、参加者らはパネリストの話に熱心に耳を傾けていた。